

出席：瀬上・石川・塩谷・小西・長澤・松本・渡部・楠田・山本(真)・永山
オブ参加：里田(本部理事)

1 第27期役員の補充及び第28期役員の選挙結果

4 月期の異動に伴い小澤支部長、廣田近畿地区理事、好本中国地区理事が失格、また、松村常任理事、山本伸二幹事から辞任の申し出があった。このため、関西支部規約及び関西支部役員選挙細則の規定に従い、支部長が次のとおり常任理事の推薦及び幹事の指名を行った。

[常任理事] 瀬上哲秀、松本逸平(大阪管区气象台)

[地区理事] 大山準一(近畿：神戸海洋气象台)、辻村 豊(中国：広島地方气象台)

[幹 事] 楠田和博(大阪管区气象台)

支部ニュース第 257 号で告示した第 28 期役員選挙については、次のとおり選挙管理委員会から報告があった。選挙結果についてはメーリングリストによる会員への周知を実施し、支部ホームページでも公開した。

日本気象学会関西支部第 28 期役員選挙結果報告

標記役員選挙に対し、2008 年 4 月 18 日までに下記の立候補があり、おのこの役員の定数内のため、選挙細則第 4 項により全員無投票当選となりました。

2008 年 4 月 21 日

日本気象学会関西支部

選挙管理委員会 三井 清 (大阪管区气象台)

本田 英司(大阪管区气象台)

[常任理事]	瀬上 哲秀(大阪管区气象台)	塩谷 雅人(京都大学)
	向川 均 (京都大学)	大澤 輝夫(神戸大学)
	藤井 健 (関西気象予報士会)	松本 逸平(大阪管区气象台)
	中山 繁樹(大阪管区气象台)	
[近畿地区理事]	石田 寛人(日本気象協会関西支社)	大山 準一(神戸海洋气象台)
[中国地区理事]	山本 晋 (岡山大学)	辻村 豊 (広島地方气象台)
[四国地区理事]	佐々 浩司(高知大学)	木村 吉宏(高松地方气象台)
[会計監査]	西村 勝利(日本気象協会関西支社)	

2 新支部長の選出

任期中で支部長の交代が必要となった場合は、常任理事の欠員を補充した後、最初で開催する常任理事会において常任理事の互選により新支部長を決めている。本日の常任理事会で協議のうえ第27期の残っている任期における新支部長として瀬上理事を選出した。

3 2008年度理事会、総会・年会の開催にむけて

次の予定で開催の準備を進めており、「天気」4月号、支部ニュース 257 号及び支部ホームページで周知を図っている。

日程：6月28日(土)

場所：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター) 大会議室3番

時間：理事会（11時～12時） 総会（13時～13時50分） 年会（14時10分～16時45分）
年会発表の申込みは5月16日（金）に締め切ったが9題の申し込みがあり、既に原稿も到着した。今後はプログラムを確定し、支部ニュース258号等により周知を図ることにした。

6月早々には関西支部全会員へ総会資料、通常会員へ総会資料と委任状の郵送を行い、委任状の提出期限は6月25日（水）とする旨報告があり、引き続き2008年度理事会・総会資料、決算、予算、スケジュール案の検討を行った。

4 支部会計の本部への統合

公益法人制度改革関連法が2008年12月に施行され、日本気象学会は移行期間中の2010年度に公益社団法人へ移行の認定を申請し、2011年度から公益社団法人として活動する予定。このため、2009年度から支部会計の本部への統合を計画する。本部から示された統合の基本方針と方法の計画は以下のとおりである。

- ・支部独自活動を維持するため、予算の執行等の支部裁量を認める。（交付金と支部独自の収入を加えて支部事業計画の予算編成を行う。）
- ・支部独自の活動に関する経費は、公益法人発足までの期間、過渡的措置として継続可能とするよう配慮する。
- ・支部の基金は、支部支援活動等に優先的に活用できるよう配慮する。
- ・支部交付金は、今後内容・金額を見直す必要がある。不足する場合は財政的な支援を検討する。
- ・支部奨励金と本部奨励金とを一本化・整合させる必要があり、経過措置の必要を考えるが、今後の検討課題とする。
- ・支部交付金と支部独自事業で得た収入を支部活動資金と考えており、予稿集の作成・販売は会計処理を別として、これまでどおり実施可能である。

以上のように、当初示された案に比べ移行措置が多くとられるようになり、性急な制度変更は免れた形となった。しかし、スムーズな会計統合を目指した対応は引き続き求められている。

なお、公益法人移行については、5月19日に開催された本部総会において報告されており、支部総会においても報告することとなった。

5 第30回夏季大学の進捗状況

4月8日に大阪管区気象台において第2回夏季大学実行委員会を開催した後、気象台が担当する講座の講師を最終的に決めた。「天気」6月号に掲載予定の現時点での計画は次のとおりである。

後 援：大阪管区気象台、（財）日本気象協会関西支社

日 時：8月5日（火）6日（水） 13：00～16：30（12：30開場）

会 場：キャンパスプラザ京都（京都駅前）第3講義室

テーマ：「大気を診る」

対 象：高校生以上

募集人数：80名程度（先着順）

受講料：2,500円（テキスト代含む）

申込方法、期限：往復はがき又はメール、7月25日（金）必着

講 座：「京都のヒートアイランド現象の観測とそのメカニズム - ホームセンター気象学 - 」
（京都大学人間・環境学研究所：酒井 敏氏）

「ウィンドプロファイラーで診る大気の動き」

（京都大学生存圏研究所：橋口浩之氏）

「宇宙から大気を見る～衛星データの利用、今日と明日～」

(気象庁予報課：西村修司氏)

「観測データの解析や予報への利用」 (大阪管区气象台予報課：松本逸平氏)

今後、ポスター作成や関係機関への周知を効率的に行ってより多くの受講生に参加してもらえよう広報に努めるが、ひとつの方策として今年初めてメールでの受講申し込みも受け付けることで準備を進めている。

6 支部ニュース(第258号)の発行予定

次の内容で、6月上旬の発行を目指している旨、担当の長澤理事から説明があった。

- ・ 2008年度支部理事会・総会・年会の開催案内
- ・ 第9回、10回常任理事会の報告
- ・ 2008年度年会プログラム
- ・ 年会予稿集の販売
- ・ 第30回夏季大学の開講案内
- ・ 2008年度関西支部例会のお知らせ
- ・ 会員の種別化、気象学会入会案内

7 第2回気象サイエンスカフェについて

諸般の事情により5月の開催は困難となった。やはり会場の確保が難しく大阪周辺ではこれといった場所が見つかっていない。年間2回は開催を目指したいので、総会開催後の7月をめどに開催場所の範囲を京都周辺にも広げてテーマの検討を続けることになった。

8 その他

現在休止中のホームページの文献検索の扱いに関して意見交換を行った。